

第12回 畜産衛生に関する帯広ワークショップ

高泌乳牛の健康科学

周産期の病態生理と繁殖機能の抑制メカニズム

日時：平成22年3月6日（土） 9:00～17:00

場所：帯広畜産大学 講義棟 大講義室（〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地）
当日は、参加費無料、カラー資料集配布

～プログラム～

1. 9:00 - 9:10 開会挨拶 コーディネーター 木田 克弥（帯広畜産大学）

<教育講演-1 子宮炎と卵巣機能>

2. 9:10 - 10:40 産後の子宮収縮の生理および病態生理と卵巣機能に対する影響（日本語通訳付）
Heinrich Bollwein 先生（ハノーバー獣医科大学、ドイツ）
10:40 - 11:00 小休憩

<教育講演-2 乳房炎と卵巣機能>

3. 11:00 - 12:30 臨床型乳房炎と潜在性乳房炎の繁殖機能と受胎性に及ぼす影響（日本語通訳付）
David Wolfenson 先生（ヘブライ大学、イスラエル）
教育講演通訳：松井 基純（帯広畜産大学）
12:30 - 14:00 昼食

<一般講演 エンドトキシン・マイコトキシンと繁殖機能>

4. 14:00 - 14:40 マイコトキシンの影響が疑われた牛群の生産性低下
山本 展司先生（オホーツク農業共済組合）
5. 14:40 - 15:20 牛群のマイコトキシン（ゼアラレノン）浸潤動態と繁殖機能への影響
高木 光博先生（鹿児島大学獣医学部）

15:20 - 15:40 小休憩

6. 15:40 - 16:10 泌乳初期の乳牛に対する濃厚飼料給与が第一胃液エンドトキシン濃度と健康
および繁殖機能回復に及ぼす影響

ハキミ・ハサン（帯広畜産大学大学院畜産衛生学専攻）

7. 16:10 - 16:40 エンドトキシンによる卵巣機能の抑制機構

村山 千明（帯広畜産大学大学院畜産衛生学専攻）

<総合討論>

8. 16:40 - 17:00 進行 木田 克弥、宮本 明夫（帯広畜産大学）

18:30 - 20:30 懇親会（十勝ビール〈北海道帯広市西1条南9丁目6番地〉会費 4,000円）

コーディネーター：木田 克弥、宮本 明夫（帯広畜産大学）

帯広ワークショップ事務局（担当：加藤）

TEL：0155-49-5330 FAX：0155-54-5459

E-mail：kaorik@obihiro.ac.jp

主催：帯広畜産大学（文部科学省「組織的な大学院教育改革推進プログラム」）
（文部科学省「グローバルCOEプログラム」）

後援：十勝獣医師会